

一村一エネ事業 設備等導入概要

市町村名 砂川市

1 補助事業名

一村一エネ事業（全国初“北海道開拓おかき”の廃食用油を活かした SVO コージェネシステム導入普及事業）

2 コンソーシアム名

北海道開拓おかきコージェネ・コンソーシアム

3 事業期間

平成27年7月15日～平成27年10月15日

4 事業の目的

（株）ホリのおかき工場において、おかきの製造工程において発生した廃食用油を工場内で燃料利用するために、廃食用油を S.V.O(ストレートベジタブルオイル)として燃料化し、SVO コージェネ設備（防災対応型）を全国にさきがけて導入する。本設備を工場内の電源供給や温水（ボイラー加温）に利用し、電気使用量の削減、LPG ガスの削減に繋げることで、エネルギー・CO₂の削減を図る。

また、本設備は非常用電源としても利用可能なため、砂川市と連携し、災害時における本設備の利活用の方法の検討を行う。

さらに、本設備の効用を広く道内自治体へ周知することで、給食センターや庁舎内防災用電源設備等公共施設への導入・推進を図る。

5 補助金の交付額

金 20,000,000 円

6 事業の概要

（株）ホリのおかき工場において、おかきの製造工程で発生する廃食用油を工場内で S.V.O(ストレートベジタブルオイル)として燃料化し、これを利用した SVO コージェネ設備（防災対応型）を導入し、工場内の電源供給や温水（ボイラー加温）に利用する。

7 事業の実施結果及び期待される効果

- ①電気使用量の削減、LPG ガスの削減に繋げることで、エネルギー・CO₂の削減を図る（原油換算量 62.3kL/年）。
- ②.非常用電源としても利用可能なため、砂川市と連携し、災害時における本設備の利活用の方法の検討を行う。
- ③本設備の効用を広く道内自治体へ周知することで、給食センターや庁舎内防災用電源設備等公共施設への導入・推進を図る。

8 今後の展開

- ①今回の事業により削減できる CO₂ 量から J クレジットの創出に繋げると共に、省エネ・新エネ

の導入や CO2 排出抑制についての普及啓発を図る。

②砂川市との間で、災害時における食糧の供給に係る相互協定書の締結に向けて協議を進める。

③中空知広域市町村圏組合を通し、中空知 5 市 5 町及び管内事業者、道内自治体等に対し本事業の周知を継続して行い、相談があった場合は視察や事業者の紹介等を行うことで、省エネ・新エネの導入や CO2 排出抑制についての普及啓発を図る。

9 状 況 写 真

